# 簗川発電所

## タブレット端末で制御可能な発電所

簗川発電所は、岩手県が建設した簗川ダムの洪水調整、流水の正常な機能維持、上水道の供給及び常時満水維持のために行う放流を利用した水力発電です。

この発電所は、タブレット端末による運転制御が可能なシステムを導入し、従来の制御盤に比べ大幅な省スペースを実現しており、令和３年７月に営業運転を開始しました。

簗川発電所

| 項目＼発電所別 | | 単位 | 簗　川 |
|---|---|---|---|
| 発電所 | 水系河川名 | | 北上川水系簗川 |
| | 所在地 | | 盛岡市川目 |
| | 形式 | | ダム式 |
| | 最大有効落差 | m | 50.65 |
| | 最大使用水量 | ㎥/s | 4.8 |
| | 最大出力 | kW | 1,900 |
| | 常時 | kW | 360 |
| | 年間供給電力量 | 百万kWh | 11 |
| | 運転開始年月 | | 令和３年７月 |
| ダム | 目的 | | 治水・上水道・発電 |
| | 形式 | | 重力式コンクリートダム |
| | 堤高 | m | 77.2 |
| | 堤長 | m | 249.0 |
| | 体積 | ㎥ | 228,480 |
| | 総貯水量 | ㎥ | 19,100,000 |
| | 有効貯水量 | ㎥ | 16,700,000 |
| | 流域面積 | ㎢ | 230.4 |
| | 湛水面積 | ㎢ | 0.97 |

簗川ダム





# 稲庭高原風力発電所

## 県営初の風力発電所

稲庭高原風力発電所は、県営として初めての風力発電所で、平成13年９月に運転開始しました。発電所が設置されている稲庭高原は、稲庭岳（標高1,078m）の南東部裾野に広がる標高700m前後の高原で、強い西風の吹く場所として地元に知られています。

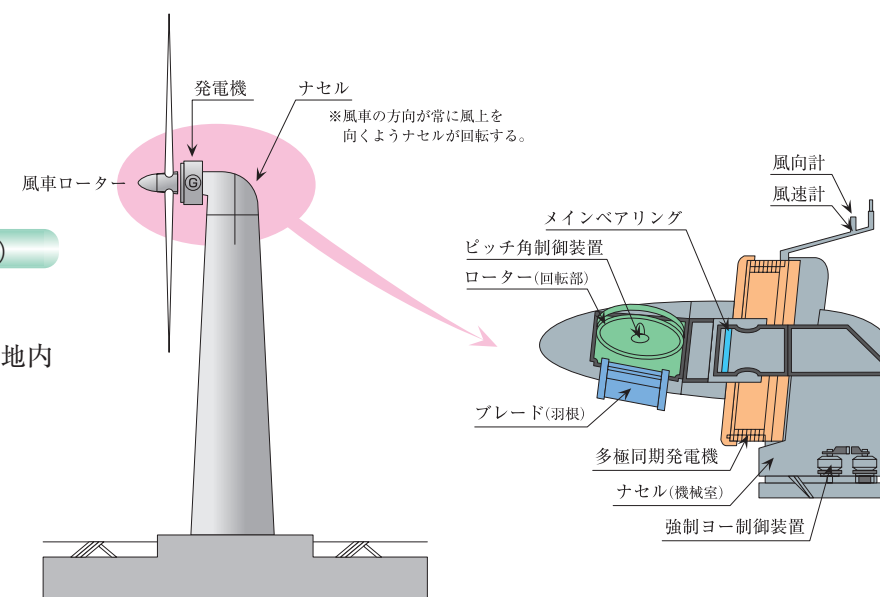
この発電所では、風の強さにより風車の回転速度が変化し、高い効率で風のエネルギーを電力に変換しています。風力発電は、風の強さにより電力が変化しますが、配電線への影響が小さくなるような方式が用いられています。

また、樹木の伐採を避けるために建設地として道路などが整備された牧草地を選ぶとともに、鳥が風車に衝突しないように配慮しています。

なお、現在、令和４年度の運転開始に向けて、発電所の再開発工事を行っています。

### 諸　元（発電所再開発後）

| | |
|---|---|
| 発電所名称 | 稲庭高原風力発電所 |
| 発電所位置 | 二戸市浄法寺町山内地内 |
| 総出力 | 1,980kW（1基） |
| 年間供給電力量 | 約 554 万 kWh |
| 総事業費 | 約 10 億 4 千万円 |
| 運転開始年月 | 令和４年７月 |

### 風力発電機の構造

風車ブレード（羽根）が風を受けて回ると、ブレードから伝えられた回転力で発電機が回り、「電気」が起きます。

旧風車

新風車（再開発工事中）